



考える子
やさしい子
たくましい子

角尾山

〈発行〉西脇市立芳田小学校
西脇市立芳田幼稚園
兵庫県西脇市落方町 236-3

『年頭にあたって』

学園長 村上 元啓

皆様、新年明けましておめでとうございます。

新しい年をどのようにお迎えでしょうか。旧年中は、本学園の教育につきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。

新しい年を迎え、保護者・地域の皆様からさらに信頼される魅力ある芳田学園をつくりあげるため、私ども教職員一同、一丸となって教育活動に邁進すべく心を新たにしているところです。

さて、昨年は、3月の東日本大震災など日本に大変な被害をもたらす大災害が頻発した年でありました。あらためて自然のもつ力の大きさや人間の無力さを痛感し、無力感にとらわれたものです。しかしながら、さまざまな災害にも復旧・復興の歩みが着実に続けられていることを知ると、人智を超える災害や「想定外」の事故にも対応できる「力」を、人はもっているのだということを再認識せずにはおれませんでした。

そんななか、10月には、サッカーなでしこジャパンのメンバー、川澄奈穂美選手らが本校を訪れ、子どもたちに「夢」をもつことの大切さを伝えてくれました。それは、自分自身の希望や願い、将来への展望こそが、自分自身にとって活力となることをあらためて感じさせてくれる時間でした。「夢」をもちつづけること、そして「夢」に向かって努力をつづけていくこと、川澄選手の話聞きながら、日々の営みに追われ、忘れていたことを思い出させてもらった気がしました。

子どもたち一人一人も、今、自分の「夢」を思い描いているはずです。私たち教職員の役割は、その「夢」の実現のためにがんばる子どもたち一人一人を支援し、励まし続けていくこと、そして、「夢」の実現のために、子どもたちに真の「力」をつけていくことだとあらためて感じています。

新たな年の初めにあたって、皆様方のご健康をお祈りするとともに、昨年同様のご支援とご協力をお願いし、新年のごあいさつとさせていただきます。

2012年 1月行事予定

1	日	元旦 冬季休業日(～9日)	16	月	
2	月		17	火	1. 17 防災集会
3	火		18	水	入園前健康診断 PTA会費集金
4	水		19	木	
5	木		20	金	登校指導 PTA役員会・評議委員会
6	金		21	土	
7	土	市内幼稚園作品展(～13日)	22	日	リサイクル活動
8	日		23	月	代表委員会
9	月	成人の日	24	火	
10	火	始業式(幼・小) 登校指導	25	水	
11	水	給食開始 子ども貯金 通学区児童会委員会活動	26	木	人権集会
12	木	発育測定(幼・小)	27	金	西脇市こども造形作品展(～30日)
			28	土	
13	金	PTA登校指導	29	日	リサイクル活動予備日
14	土		30	月	
15	日		31	火	



★1. 17防災集会 1/17(火)

地域の皆様もご参加ください。

PTA会員は保護者カードと上履きをご持参ください。

詳細は、後日お知らせします。

★PTAリサイクル活動 1/22(日) 午前9:00～

こころの花
た。

そうじのとき、友だちがすみずみまでしていました。がんばっているねと思いました。

〔4年生学級紹介〕

福祉体験

4年生は、2学期の総合で福祉教育の一環として、点字体験、アイマスク体験、車いす体験を行いました。点字体験では点字が必要な理由や成り立ちを学んだ後、実際に点字器で自分の名前を打ちました。アイマスク体験ではペアになり自作のアイマスクをつけ、ガイドに付き添われながら体育館・グラウンドを歩きました。車いす体験では、車いすで校舎内を回り、普段の生活では感じない問題点を見つけたり感じたりしました。4年生は友達にやさしくすることを目標に生活をしています。これらの体験を通して様々なハンディをもった方に対して声をかけ、手をさしのべることのできるような人に成長してほしいと願うとともに、誰に対しても相手の気持ちを考え、優しく接することができる心のあたたかさをもった人になってほしいと願っています。



PTA特集

(会員の三氏に寄稿を依頼しました)

感謝

昨年、水尾町の子供会の会長を主人がさせていただき、やっと終わったと思った矢先に、小学校のPTA会長という大役が当たりました。自由がきかない仕事をしていて、上の子の時には参観日も参加した事がない人が会長なんて無理なんではと不安でした。でも、子供会の時もですが、周りの皆さんに助けていただき、無事終わることができました。そして今回も、副会長さんをはじめ役員の方々には行き届かない会長でご迷惑をかけてばかりで申し訳なく思っています。でも皆さんいつも快く協力してくださり「感謝」の二文字につきまします。大役を受けた時は「大変」としか思いませんでしたが、今、振り返れば「感謝」の気持ちに変わり、そして主人も得たものは大きかったと思います。何より今まで子どものために親として頑張ってくれたことに感謝します。本当に先生方役員の皆さん方には感謝しています。

(仲田 ふみよ)

子どもの成長

西脇に移って早4年。最初は村の行事、子供会に戸惑うこともありましたが、大分慣れてきました。私は、仕事の都合で西脇に帰って来ることが月に数回しかなく、限られた時間の中で子どもと接してきました。帰る度に驚かさせるのは子どもの成長の早さです。見た目は当然のことですが、力が強くなっていることにびっくりさせられます。

息子は柔道を習っていて「父ちゃん乱取りしよう。」とせがまれ、組み合うと、油断していたら倒されそうになります。そんな息子を頼もしく思う今日このごろです。

ただ一つ残念なことは、帰ってきてアニメのサザエさんの様に出迎えてくれる訳でもなく、仕事に行く時もさみしがることもなく、そのことに関しては父親として少し不満です。

息子には芳田の子として皆と仲良く元気で頑張ってもらいたいと思います。

(内橋 一郎)

「子は宝」を感じる時

入学式当日、熱を出し青白い顔で記念写真を撮った息子が来年度から6年生。月日が経つのは早いもので、この間まで幼い保育園児だったのと思うことがあります。大きくなるにつれていろんなことに興味をもち、学校から様々な催しや教室の案内の冊子等持って帰って来る度に、これ行きたい、これしたいという希望を悉く理由をつけては諦めさせていきましたが、家族の協力のもと、絵画教室や囲碁教室、児童合唱、星空探偵団、ふれあい教室など参加し、子どもたちがとても生き生きと動き回っているのを見ると、こちらもうれしくなります。参加して良かったなと思えました。ほとんどが週末の開催で忙しい時もありましたが、楽しい時にはそんな苦労も関係なく、親も楽しんでいるものなのです。子どもにとってもいい経験になったことと思います。またすぐに友達をつくるのも子どもならではの。これからもできる限りの協力をしてやりたいです。

(長谷川 智子)

朗読会のご参観 ありがとうございます

12月14日(水)に開催しました「朗読会」には、ご家族や地域の方々などたくさんの方に参観していただきました。寒い中、最後まで子どもたちに声援を送っていただき、ありがとうございました。

こころの花

毎晩、二人のかわいい寝顔を見るたび幸せを感じます。元気にすくすく育てられてあり

